

WE しもやま LOVE



「豊田しもやまラリー2023」開催報告



▲ セレモニアルスタートの様子



▲ ステージイベントの様子



▲ ラリーカーと鯉のぼり

5月21日（日）、羽布町ほかで「豊田しもやまラリー2023」が開催されました。

「豊田しもやまラリー」は、昨年度下山地区で初めて開催された中部・近畿地区の地方ラリー選手権で、今回が、2回目の開催となります。新城ラリーの主催団体でもある「モンテカルロオートスポーツクラブ」が主催し、下山商工会や豊田市しもやま観光協会、三河湖共栄会などが協力という形で参画しました。

大会当日は、巴ヶ丘小学校下の広場で、プロドライバー勝田範彦選手によるステージイベントや世界ラリー選手権（WRC）のPR、交通安全啓発のブース出展などラリーをより楽しめるイベントを行いました。

天候にも恵まれ、地区内外から約800人が来場し、イベントを楽しみながら飲食ブースで、五平餅やうなぎなどの下山地区の名物を堪能しました。

広場では、セレモニアルスタートが行われ、来場者は、1台ずつ紹介されるラリーカーや選手に手旗を振り、熱い声援を送りました。スペシャルステージ（競技区間）では、鯉のぼりが優雅に泳ぐ中を激走するラリーカーを間近で観戦することができ、多くの来場者が写真を撮りながら応援しました。

鯉のぼりは、羽布自治区が大会のために掲揚したもので、出場選手からは「鯉のぼりが泳ぐ中を走行できてよかった」ととても好評でした。羽布自治区はじめご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



▲ みんなで記念撮影

【しもやまラリーイベント実行委員会がPR活動を実施】

実行委員会がブース出展を行い、世界ラリー選手権の三河湖SSのPRやしもやま美食MAPを配布し、下山地区の魅力を発信しました。また、実行委員が出演したステージイベントでは、ラリーを楽しく学べるクイズを出題し、会場を盛り上げました。

11月に開催される世界ラリー選手権に向けて、下山地区を盛り上げていきますので、一緒に応援しましょう！



集落の魅力や景観を守り続けていく取組にチャレンジ！

5月13日（土）、羽布町で「羽布の山里 米づくり体験会 2023」が行われました。この取組は、羽布まちづくり委員会の景観チームが企画したもので、遊休農地を地域内外の多様な人々が関わりながら、田んぼとして再生していくプロジェクトにチャレンジしました。当日は、市内外から3名が参加し、地元の方と交流をしながら、農作業や田植え機の操作などを体験しました。参加者からは「地元の方の管理のおかげで、素敵な田園風景が保たれていると実感した。今後、お手伝いなどがあれば参加したい」と嬉しいコメントをいただきました。今後は、稲刈り体験や収穫祭などを予定しています。

詳細は、二次元バーコードを確認⇒



【羽布の里 自給家族も活動！】

同日には、耕作放棄から農地を守るために立ち上がった「羽布みのり会」が、「自給家族」の活動を行いました。

多くの家族連れが参加し、参加した子どもたちは、泥んこになりながら、一生懸命手植えをしていました。

羽布自治区と羽布まちづくり委員会では、今後も、豊かな里山の暮らしと景観を守り、次世代につないでいく取組を行っていきます。

【自給家族とは】

中山間地域の農家と都会の消費者が直接契約し、「同じ田んぼの飯を食べることで、ふる里の景色を守る」家族になるためのプロジェクト



▲ 米作り体験会の参加者と記念撮影



▲ 田植え機の操作にチャレンジ



▲ 自給家族での手植えの様子



下山中学校の1年生に向けて定住等の取組を説明



▲木下会長の説明

5月10日（水）、下山中学校1年生が「もっと魅力的なまち下山」の提言を目指し、ふるさと下山の魅力や課題の把握をするため、地域学習を行いました。

その一環として、下山支所ロビーで里楽暮住（りらくす）しもやま会 木下会長が会の活動内容や移住定住に関する説明をしました。話を聞いた生徒は「地域の課題に対して、たくさんの活動をしていることを知ることができた。今後、知らない人に広めていきたい」と感想を話しました。

このコーナーは下山地区の移住者に「Village Fan's Co.」が地域記者として取材する連載コラムです。下山に移住した方の紹介や、移住者が感じている下山の魅力を発信して、住民の皆さまに下山地区の魅力を再発見してもらうことを目指しています。

第1回は、和合町に移住された伊藤雄規さん取材しました。

【プロフィール】

伊藤雄規さん。平成元年生まれのオシャレな34歳。

豊田市駅周辺で生まれ、街中で育ちました。

学生時代は、沖縄で4年間一人暮らしをし、就職を機に豊田市に帰郷。その後、結婚して現在は奥様と小学生の息子さんと3人で暮らしています。

趣味：DIY、こわれたものを直す、キャンプ

【ビレファンから見た伊藤さん】

優しく穏やかでいつもオシャレな伊藤さん。いつもフランクに接してくれて、時には冗談を言って笑かしてくれます。



【地域記者】

Village Fan's Co.
(ビレファン)



下山を盛り上げたいという想いを持った同級生たちの団体。

活動テーマは「下山地区のファンを増やすこと」。なぜなら、私たち自身も下山地区のファンだからです。



▲伊藤さんの畑

【下山に移住したきっかけ】

下山に移住して1年が経過しました。大学卒業後、農業関連の仕事に従事し、その時に「半農半X」という本に出会い、移住を意識しはじめました。

そして、空き家バンクで物件を見つけ、内覧の時に窓から見た景色に一目ぼれして移住を決意。

【なりわい】

移住を機に勤めていた会社を辞め、農業で生計を立てています。下山地区内の耕作放棄地を活用して「自然農法」という農法で無農薬ハーブを栽培しています。

令和4年度に愛知県の事業「あいちの山里アントレワーク実践者」で起業し「ぼんぼこ畑」という屋号で活動中。



▲伊藤さんの活動はこちらから



▲「ぼんぼこ畑」で作成したハーブティー



▲伊藤さん(中央)とビレファン(左右)

【しもやまの好きなところ】

「移住して感じた『ほどよい距離感』が一番好きなところ。優しく気にかけてくれる地域の皆さんに囲まれているけど、そっと見守ってくれる。そんな距離感で人付き合いができるところが魅力」と語ってくれました。今後も下山地区で活躍される伊藤さんをビレファンも全力で応援します！

【記事：Village Fan's Co.鈴木】



安心安全なまちづくりに向けて交通安全立哨を行いました

「春の交通安全市民運動」の一環として、5月11日（木）に交通安全立哨が下山地区内で行われました。

豊田市内での交通死亡事故発生に伴い、市は5月に「交通死亡事故多発非常事態宣言」を発令しました。一人ひとりが交通安全意識を高め、悲惨な交通事故を起こさないよう、また、交通事故に遭わないよう、十分に気を付けましょう。



▲根崎交差点の立哨の様子



連載コラム「せつつが行く！ Vol.1」



【記者の紹介】
下山支所 摂津(せつつ)
年齢：53歳
趣味：スポーツ全般
愛称：せつちゃん

令和5年4月にトヨタ自動車（株）から支所へ出向し、下山地区に仕事の拠点を置く素人記者 摂津の連載コラムです。初回は「トヨタ工業学園が下山で社会貢献活動に取り組む理由」を紹介します。

きっかけはトヨタ自動車のテストコースが立地したご縁。様々な理由で地域住民だけでは解決が難しい課題に対し、「お世話になっている下山の皆様へ何か恩返しをしたい」その想いで、令和3年度からスタートしました。



▲雨の中、花沢町の竹林を伐採する様子



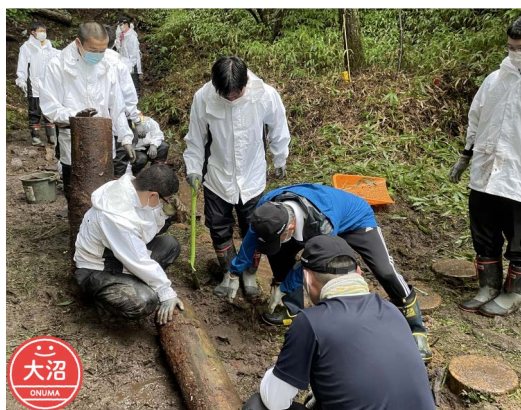
▲作業開始前の朝礼
(手の組み方にもルールがあります)

学園生は「モノづくりは人づくり」の考えに基づき、入学した時から心を鍛え、技を磨き、良き社会人としての所作（振る舞い）を徹底的に叩き込まれます。誰もが明るく元気な挨拶、整然と並びキビキビとした朝礼。かと思えばお弁当を食べる時には普通の10代に戻り無邪気な笑顔を見せてくれます。

そんな学園生がいつも実践していることがあります。

1つ目は「誰かのために動く」下山での活動のように自らが地域の方と交流を図りながら、相手のことを考え、最後までやり抜くことです。2つ目は「ありがとうを声に出す」今の自分があるのは、自分以外のすべての人に支えられているからだ感謝の気持ち忘れないことです。

今年度も延べ600人超の学園生が下山地区で活動します。誰かのために歩み続ける学園生にご注目ください。次回Vol.2では学園生の活動を支える大人の物語にスポットを当てたいと思います。



▲大沼町の林道を整備する様子



下山西部プールがオープンします

- 期間 令和5年7月9日（日）～8月31日（木）午前9時30分～午後4時
 - 料金 高校生以上 200円、中学生以下 100円
ただし、市内在住又は在学する高校生以下（在学していなくても18歳以下の方）、市内に在住する満70歳以上で、施設を個人利用する方は、無料。
※生徒手帳、健康保険証、運転免許証、マイナンバーカード、学校が発行した学年通信等を持参してください。
 - 設備 25メートル4コースと遊戯プール
 - その他
 - ・期間中は、原則無休ですが、節水規制や気象状況などにより利用を中止する場合があります。
 - ・学校プールとして活用しているため、一部又は全面使用不可の日があります。詳細は、問合せ先にご確認ください。
- 【問合せ】開設期間中：下山西部プール TEL90-2579
開設期間外：下山支所 TEL90-4411



令和5年度 行政相談のご案内

予約不要で、誰でも無料で相談できる行政相談を次の日時に開催します。行政全般に関する困りごとを行政相談員が伺いますので、気軽にお越しください。

日時：令和5年7月19日（水）午後1時30分～午後3時30分

場所：下山支所

下山地区データ



人口
4,045 人
(-126)



男性
2,008 人
(-59)



女性
2,037 人
(-67)

(5月1日現在)
※（）は前年同月比



世帯数
1,639 世帯
(-29)

発行者情報

編集・発行

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行

お問い合わせ

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344

MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





〔 社協下山支所だより 〕

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp



生きがい活動センター 弓道場の 市内子ども・高齢者料金が無料化されました

令和5年4月1日より、豊田市の新たな子ども・高齢者支援策として、生きがい活動センター弓道場の個人料金が無料となりました。当施設は、周りが木々で囲われている緑豊かで静かな場所にあります。ぜひご利用ください。なお、一般・専用利用料金は従来通りです。

対象となる方

- ・市内に在住または在学する高校生（18歳）以下で弓道場を個人利用する方
- ・市内に在住する満70歳以上で弓道場を個人利用する方
(生徒手帳、学校等が発行した学年通信、マイナンバーカード、健康保険証、運転免許証等無料化の対象であることが分かるものを持参してください。)

ご注意ください

- ・弓道場を専用利用する場合は、無料化の対象とはなりません。
- ・利用にあたっては、個人単位で利用申請が必要です。



～しもやまで輝くひと・グループ紹介～ ボランティアグループ「よつば会」

～メンバーの皆さんより～

よつば会は、縫い物が大好きなメンバーが集まり、和気あいあいと作品作りにいそしんでいます。出来上がった作品は、まどいの丘にて展示し、募金して頂いた方にお持ち帰りいただいています。なお、募金は日本赤十字社を通じて被災地へ送金されます。真心こもった私たちの作品を見に来てくださいね❁



メンバー：7名（募集中☎手芸好きな方はぜひ☎）

活動時間：毎月第2月曜 13時～16時

活動場所：生きがい活動センター 和室

問合せ：社協（Tel90-4005）まで

見学も随時受け付けています！



10/29
(日)

しもやまスマイルフェスタ 参加者募集

申込×切日
7月23日(日)

地域の方の出展・出演・出店を募集します。
一緒にフェスタを盛り上げましょう!



芸能



コーラス・楽器演奏
手品・空手・太極拳
フラダンスなど

展示



絵画・陶芸・華道
書道・写真・木工
手作り品など

販売



ハンドメイド雑貨
産直野菜・パン
駄菓子など

体験



囲碁・将棋
ボードゲーム
小物づくりなど

ささゆり保護活動 2023①

~知ろう!守ろう!育てよう!

わたしたちのささゆり~

5月14日 参加 14人(保存会員含む)

今年度から中学生だけでなく小学生も対象に加え、ささゆりの印つけを行いました。ささゆり下山保存会の方に教えてもらいながら真剣に取り組んでいました。



▲雨具で頑張る小中学生

【今後の予定】

- ・保護活動② 6/11
- ・大沼小学校授業 6/15
- ・団体観賞会(予定)
とよたシニアアカデミー
民生児童委員協議会
水曜会など

講座報告

スマイル☆キッズ①

~親子ふれあい遊び~

5月17日 参加 9組

保育士の鈴木知江美先生を講師にお迎えし、親子ふれあい遊びを楽しみました。子どもたちの笑顔も多く見られました。後半は、かれんママの司会で情報交換会を行いました。



〈参加者の声〉

- ・歌がとても上手で惹き込まれました。
- ・子どもが飽きることなく楽しめました。

スマイル☆キッズ② ~親子でなつまつり~

7/12(水) 10時半~12時

申込受付中

今年もヤギが登場!

交流館北側斜面の草刈りに2頭のヤギが大活躍しています。



7月のロビー展

「呼笑庵の杖」展
坂巻末治

